

## 弾力的な運用が可能な施設構造について

大阪府立中宮病院再編整備基本構想(平成15年3月 府病院事業局・府建築都市部公共建築室)

### 施設整備に関する基本的考え方

#### 融通性が高く弾力的な運用が可能な施設構造

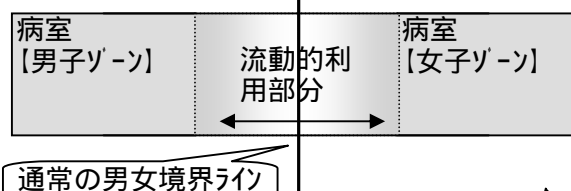
- ・入院患者の療養環境を考慮し重症患者等の受入機能を高めるため、十分な数の保護室、個室を確保し、弾力的な運用を図る。
- ・病棟における男女の区分を弾力的に設定できるようにするほか、診察、待機、カウンセリングなどのスペースを将来の需要に対応して、空間の分割等が可能な構造にするなど、融通性の高い施設構造とする。

PFIの事業者を募集する際、将来の需要に対応した融通性の高い施設構造について提案を求める予定。

### 業務要求水準書(案)

- 【建築物の長寿命化に関して】
- ・将来の医療環境の変化に伴い、間仕切壁や設備の更新に柔軟に対応できる構造とすること。
  - ・躯体の長寿命化について配慮した構造とすること。
- 【病棟における男女の区分に関して】
- ・入院患者の男女比率が変化した場合、一部の病室について、男女の区分を流動化させて利用できるよう工夫すること。( 想定イメージ図)

想定イメージ図



### 審査基準(案)

- 【構造計画】
- ・将来の変化への対応について、どのような工夫が見られるか。(構造、諸室配置、設備の改変や更新など)
  - ・躯体の長寿命化について、どのような提案がなされているか。